



かんきょう活動センターだより



令和5年度秋号



カラスウリ

【ウリ科】

林縁などで、他の植物等に絡みつくようにツルを伸ばし成長する多年草。花は花弁の先がレース状になった白い花を夕方から咲き始め、翌朝には萎んでしまう。この美しい花を観賞する機会が少ないのが残念。秋オレンジ色に熟した果実も美しく、晩秋枯れたツルにつり下がった果実の姿は秋の風情が感じられる。

花期：8～9月

府中かんきょう塾2023開催報告

今年度の府中かんきょう塾は、話を聞くだけでなく自ら動いたり、体験できる講座をいくつか準備してみました。上半期を振り返ります。

第1回の「環境活動をのぞいてみよう!」は、朝岡幸彦氏(東京農工大学教授)に指導を受けながらグループワークにより市民団体の活動についていろいろと学びました。



▲第1回
朝岡講師

第2回の「植物多様性センターに行ってみよう!」は、調布市の神代植物公園に併設されている植物多様性センターで、箱根ゆみ子氏(同センター専任ガイド)に施設の役割、園内の植物展示の考え方、植物の3点について説明を受けました。

第3回「多摩川の植物調査」は、藤井義晴氏(東京農工大学名誉教授)の指導による多摩川の河原に自生する植物の調査を行いました。植物調査

ではよく使われるコドラート法を使うことで、自分たちでも植物調査を行うことができます。

府中かんきょう塾2023は全7回開催予定で、この後の講座にもご参加いただけます。ご案内は毎回、広報紙に掲載しますので、ぜひご参加ください。



▲第2回 箱根講師(左端)



▲第3回 藤井講師(奥)

●これから間に合う講座のご案内

第6回講座 11月18日(土)午後1時～3時
渡辺雄一郎氏(元海外青年協力隊員)「緑の宝石：マングローブ保全活動の魅力とITの力」 会場：旧みどり幼稚園

第7回講座 12月9日(土)午後1時～3時
林 丈雄氏(市民活動センタープラッツ館長)「グランドワーク三島による市民主体の清流・源兵衛川再生ものがたり」 会場：府中駅北第2庁舎3階会議室

※問合せ：活動センターへ

浅間中学校 1年生 「ふるさと 学習・浅間山全山清掃」

(浅間中学校 黄 山泉 教諭)

令和5年6月6日(火)5・6校時に1年生総合学習の一環として浅間山全山清掃を行いました。ねらいは2つありました。1つめは地域行事への参加を通じて、生徒に地域社会の構成員である自覚をもたせるとともに、地域から生徒が認め励まされ成長できる機会とすることです。2つめは清掃活動を通し、里山環境保全の意義を体験活動で実感できるようにすることです。

天候にも恵まれ、6クラス(約190名)の生徒が参加し、暑い中でしたが地域のために草刈り、草の片づけなどを行いました。1時間程度の短い時間でしたが、あまり慣れない道具を使いながらも、浅間山の自然や自然保護について実感できる貴重な体験となりました。

浅間山自然保護会の山田さんには大変お世話になり、生徒たちに浅間山のこと、浅間山自然保護会についてなど、お話をしてくださいました。清掃活動の意義についてもお話をいただき、生徒たちは目的をもって清掃活動に取り組めました。浅間山自然保護会の皆さんに教わりながら地域の役に立つ喜びを、生徒ひとりひとりが感じられたと思います。

生徒のアンケート、当日の写真をいくつか紹介します。これからも、私たちのふるさと府中の浅間山を大切に、里山環境保全に協力していきたいと思っています。

<生徒アンケート>

大変だったことは？

虫がいっぱいたこと／長袖・長ズボンで暑かったこと／草を力を入れて1回で刈ること／草がからまってしまったこと／根元から刈ること／鎌の使い方／蜂やムカデがこわかった／地面がじめじめしていたこと／雑草の引き抜き方／成長点を刈ること／草の量が多かった／低い姿勢で刈ること

達成できたことは？

班のみんなと協力して楽しく安全にできた／怪我なく楽しく終えた／浅間山自然保護会の方々とお話をできて浅間山を知ることができた／里山をきれいにすること／最初とは比べものにならないほどきれいにできた／草を一か所に集めたり、草が多いところを教えあったりしながら仲間と一緒に作業できた／草を刈るコツを学べた／地域の人と関わることができた／自然を守ることができた／自分の街をきれいにした／初めて地域行事に参加できた

清掃を通して、地域に役立つことはどんなこと？
公園を利用する人たちが気持ちよく過ごすことができる／遊びに来た人が喜んで笑顔になる／自然豊かな市になる／ムサシノキスゲをよりよい環境で育てることができる／初めて来た人がきれいだという印象を持ってくれる／ここで行われる行事が行いやすくなる／来た人がきれいと思ってくれれば浅間山に行く機会が増える／きれいにすることでもっと関心をもってもらえる／きれいだと来る人の心も豊かになる／草を刈ることではほかの植物に栄養が届きやすくなり来た人も見やすくなる／歩きやすくなり植物が育ちやすくなる／やすらぎの場を守れる／たくさんの人が来てくれる／景色がよくなる／地域の自然が豊かになる／ボランティア活動に参加してみようという人が増える

感想

- ・浅間山自然保護会の方が「ありがとう」と言ってくれた時に、やってよかったと思った。
- ・みんな真剣に草を刈ることができてよかった。
- ・浅間山自然保護会という名前を初めて聞いた。大切な浅間山がここまで綺麗になっているのはスタッフの皆さんのおかげだと思うので、スタッフさんに感謝と「すごい」という思いを持った。
- ・たまに行くくらいだったが、今回関わることができてよかった。また行こうと思う。
- ・スタッフの方は私たちに説明したり片づけてりしてくれたので、たくさん感謝したい。
- ・清掃は大変だったけど地域の人が喜んでくれるから、やってよかったなと思った。
- ・小学校の時から関りはあったけど、清掃は初めてだった。鎌の使い方なども学べた。
- ・昔から遊んでいた浅間山に清掃という形でお礼ができたと思ったのでよかった。山田さんありがとうございました。
- ・浅間山をきれいにできて、楽しかった。大変なことも色々あったけど、一生懸命作業することの楽しさを知ることができた。これで地域に役に立つことができればいい。



▲浅間山自然保護会より説明を受けて作業です

第3回 「多摩川名人をめざそう」

(NPO法人府中かんきょう市民の会)

令和5年8月26日夕方、「多摩川名人をめざそう」第3回として、虫の音鑑賞会を、多摩川河川敷で開催しました。(集合・解散：京王線中河原駅前)

当日の天候は、東京の日没時間午後6時17分、府中アメダスの数値で晴れ、月齢9.7、気温28℃～29℃、風3～4m/sでした。

今年の夏は暑い日が続き、府中アメダスの観測地は、7～8月に真夏日(最高気温30℃以上)は62日中59日、猛暑日(最高気温35℃以上)は17日という、状況でしたので、30℃を下回る気温で、多摩川近くでそよ風が吹く状況も併せて体感温度は2～3℃低く感じられ、心地よいものでした。

お月さまもずっと輝いていました。

町田方向(南側)では、盛んに稲光が見えましたが、雨雲が真上に来なかったのは幸運でした。

市内で自然観察会が多いのですが、夕方以降に開催する虫の音鑑賞会は資料にも、当会会員や市職員の記憶にもなく、めずらしいもののようにです。



▲虫のいそうな草むらで日没まで待機

開催した時間は夕方の午後6時から8時頃まで、始めに薄暗い間に虫の音の聴き方、これまでに聴けた虫の音についてのレクチャー、鳴く虫は全てオスであり、オス同士の縄張りの主張のときや、メスを呼ぶときの声の違いなどの説明の後、多摩川河川敷で思い思いにシートに座ったり、しゃがんだりして、虫の音を楽しみました。参加人数は21人、夕方で子どもは2人でしたが、じっくりと聴くことができました。



▲暗くなったところで観察開始

河川敷に着いたついたときはまだ薄暮でしたが、暗くなるにつれ鳴き声は大きく、豊かな鳴き声になっていきました。

当日聴くことができた虫の種類は5種類、鳴き声はカタカナで表記しましたが、何種類もの虫たちの合奏は楽しいものでした。

昆虫名

エンマコオロギ

オカメコオロギ

ツツレサセコオロギ

マツムシ

アオマツムシ

鳴き声

コロコロリー

リッリッリッ

リ！リ！リ！

チィリーチィリー

リーリーリー

※中河原駅から、多摩川河川敷までの歩道脇の街路樹で鳴いていたアオマツムシがいました。マツムシの名前がついていますが、明治時代に中国から来た外来種で、鳴き声が似ていることからこの名前になったようです。

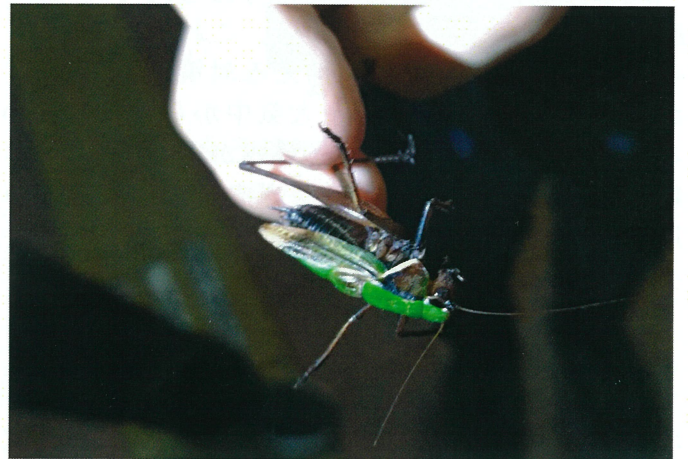
<参考> 6月に昆虫観察で声が聴けた虫にクビキリギスがあり、鳴き声はジー。

涼しげな風が吹いている中、やぶ蚊を警戒していましたが、さされた参加者はいなかったことも幸いでした。

対岸の多摩市側では、小規模な打ち上げ花火が行なわれていました。

西側の関戸橋の架け替え工事は、夏季で増水期のため中断時期でしたので、少し離れれば、静かに虫の音を聴くことができました。

11月からは工事再開予定で、12月には関戸橋の架け替え工事に伴う、自然保護または自然擾乱の状況の定時・定点観察についての情報提供を、工事前と工事中の現在で市民のみなさまにお知らせする活動を東京都は毎年行なっていますが、その情報を現地で行なう予定です。(雨天時は中河原駅隣の男女共同参画センター)



▲ヒメギスを身近に観察(捕獲のみ)

武蔵台緑地保全活動 について学ぼう！

(武蔵台緑地ボランティア)

「府中を知る！自然編」

武蔵台緑地の自然を、多くの人たちに再認識してほしいと思い、プラッツでの市民活動講座「自然編」の開催に挑戦してみました。

参加した総勢20人を二班に分け、武蔵台緑地を会員の説明を受けながら自然と触れ合う散策を行ないました。参加者からは良い点、これから改善してほしい点などが、意見として出され、私たちのこれからの活動や緑地の改善に役立つ材料を多くいただき、前に向かっての活動が出来るそうです。

まず、武蔵台緑地を理解してもらうために、パンフレット、案内シート等充実をしていきます。

今回、初秋であったにもかかわらず、良好な気象条件などが重なり環境が整ったことから、「マヤラン」(東京都植物レッドリスト)が見られたことは、今回の参加者にとってもラッキーであったと思います。



▲緑豊かな緑地を説明を聞きながら散策

コラム

＜グリーンカーボン・ブルーカーボンとは＞

地球温暖化の原因の一つと考えられている二酸化炭素(以下、「CO2」と呼ぶ)、これを大気中から減らすことが温暖化を抑える対策の一つと言われています。このCO2を大気中から減らしているものに、陸上の植物の光合成があります。植物がCO2を吸収しその中の炭素を栄養として取り込み蓄積します。この蓄積された炭素のことを「グリーンカーボン」といいます。

また、海の中でも海藻や植物プランクトンなどの植物がいることで、海にも炭素が蓄積されています。これらの炭素のことを「ブルーカーボン」といいます。藻類は樹木よりもCO2を吸収する効率が高く、同じ面積の比較では約10倍程度とされています。

ふちゅこまからのメッセージ



日常が少しずつ戻ってきているこま。これからはおでんの季節！楽しみだこま。

府中市環境保全活動センター

■所在地 〒183-8703

府中市宮西町2丁目24番地

府中市役所3階

生活環境部環境政策課内

■電話番号 042-335-4410

■問合せ 平日の午前9時から午後5時

※年末年始(12月29日から1月3日)

ホームページ <http://fuchu-kankyo.com/>

メールアドレス mail@fuchu-kankyo.com



※府中市環境保全
活動センターロゴ

編集後記

最近、電車やバスでお年寄りに席を譲る若い人が少なくなったことが気になることの一つです。

近くにお年寄りや身体の不自由な人がいても、平気な顔をしてスマホを操作している姿を見て、やるせない気持ちになるのは私一人ではないでしょう。そんなある日、ちゅうバスに乗車しました。車内は座席がいっぱいぐらいの乗客でした。乗車してすぐ男子高校生が「この席をお使い下さい」と席を譲ってくれました。その爽やかさとあたたかさに触れ、自然に顔はほころび良い一日が過ごせました。

また、きっと彼のような周りをみて気遣いできる人は、環境も大切にしていると思いました。

(編集委員 Y・Y)

発行日 令和5年11月13日

編集・発行 府中市環境保全活動センター

広報活動部会

次回発行予定 令和6年1月

